

DynaScan

ユーザーマニュアル

デジタルサイネージディスプレイ

超高輝度 “DS シリーズ”

DS322LR4-1



この度はお買い上げいただき誠に有難うございます。ご使用前に本取り扱い説明書をよくお読みになり正しくお使いください。3 ページの安全に関するご注意事項は必ずお読みください。本書は大切に保管ください。

本書で使用される図表等は参照用のみです。実際の製品とは異なる場合があります。製品的设计および仕様を予告なく変更することがございます。

HDMI™

目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 安全上の注意事項 | 3 |
| セットと付属品の確認 | 5 |
| 同梱物の確認 | 5 |
| リモコンの電池の挿入/交換 | 6 |
| 設置 | 7 |
| マウント | 7 |
| 設置方向 | 8 |
| 設置場所・設置条件 | 8 |
| 天井から吊るす場合・壁かけ | 9 |
| 電源への接続 | 10 |
| 外部ビデオソースに接続する | 10 |
| コネクターの配列 | 11 |
| 入力/出力端子 | 11 |
| 操作説明 | 12 |
| ディスプレイの電源を入れる/切る | 12 |
| リモコンの使用法 | 13 |
| リアパネルコントロールスイッチの使用法 | 14 |
| オンスクリーンディスプレイ (OSD)メニュー操作方法 | 15 |
| 仕様 | 20 |
| 入力モード | 21 |
| ピン配列 | 22 |
| デジタル RGB 入力 DVI 端子 | 22 |
| RS-232C 入力 | 22 |
| トラブルシューティング | 23 |

電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- * 本製品をラジオ・テレビ受信機から十分離して別のコンセントに接続下さい。
- * この製品に接続するケーブルはシールドされたものをご使用ください。

本製品の廃棄

本製品の破棄する場合は地域や地方自治体などの規制に従って処置ください。

商標に関する情報

- * HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

免責事項について

- * 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用その他異常な条件下での使用によって生じた損害に対して当社は一切の責任を負いません。
- * 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に関し当社は一切の責任を負いません。
- * 取付/取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関し当社は一切の責任を負いません。
- * 誤操作や静電気などのノイズにより本製品に記憶されたデータなどが変化/消失することがあります。これらの場合に当社は一切の責任を負いません。

安全上の注意事項

～必ずお読みください。～

本項では製品を安全にお使い頂くための重要事項が記載されています。よくご理解下さい。

[記号の意味]

| | | | | | |
|---|-------------------------|---|--------------------------|---|----------------------------|
|  | 本記号は禁止（してはいけないこと）を示します。 |  | 本記号は指示（しなければならぬこと）を示します。 |  | 本記号は注意（気を付ける必要があること）を示します。 |
|---|-------------------------|---|--------------------------|---|----------------------------|

|  警告 この条項を守らないと大けがや重大な事故につながる可能性があります。 | |
|---|---|
|  | ディスプレイは濡れた場所に設置せず、また花瓶など液体が入った物は機器の上に置かないでください。 |
|  | ディスプレイは灯油などの可燃性または揮発性の液体の側に設置しないでください。 |
|  | ディスプレイはラジエーターなど、発熱する機器の側に設置しないでください。 |
|  | ディスプレイはホコリの多い場所に設置しないでください。 |
|  | 電源コードおよびプラグを破損させないでください。重い物の下敷きにしたり引っ張ったりねじったりしないでください。 |
|  | スクリーンを解体すると感電の恐れがありますのでお止めください。 |
|  | 濡れた手でスクリーンに触れると感電の恐れがありますのでお止めください。保守点検は販売店へお問い合わせください。 |
|  | 煙や異常音、変なにおいがする場合はすぐに電源を切りプラグをはずし、取扱店までご連絡ください。 |
|  | 内部に水や遺物が入った場合は電源を切りプラグをコンセントから抜いて取扱店にご連絡ください。 |
|  | 電源は正しい電源電圧のコンセントを使用してください。電源コードは本体の付属品を使用してください。 |
|  | 機器を落としたりキャビネットが破損した場合、ひび割れや以上な振動など構造的異常が発生した際は電源を切りプラグをコンセントから抜いてください。 |
|  | 転倒・落下防止の処置をすること。落下などによるけがを防ぐため、設置時に処置をしてください。要領は設置環境にも関連しますので、設置業者にご相談ください。 |
|  | 雷が鳴りだしたら本体、電源コード、本体に接続された機器、ケーブル類には触れないでください。 |
|  | アースを接続すること。アースが接続されないで万が一漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。また、静電気で機器にダメージを与える可能性があります。アースが接続できない場合は専門の工事業者にご相談ください。 |

|  注意 この条項を守らないとけがや機材の破損、事故につながる可能性があります。 | |
|---|---|
|  | 長時間の使用後は、スクリーン裏のヒートシンクが過熱している場合があります。火傷の恐れがありますので触らないでください。 |
|  | スクリーンに鋭利な物体で触れたり、過度に圧力を与えたりするとパネルが破損することがありますのでお止めください。 |

| | |
|---|---|
|  注意 この条項を守らないとけがや機材の破損、事故につながる可能性があります。 | |
|  | ディスプレイは狭い場所には設置しないで通気性の良い場所に設置してください。通気口やヒートシンクを覆わないようにしてください。 |
|  | スクリーン上に物を落とさないでください。 |
|  | 機器を清掃する前に、電源コードを抜いてください。スクリーンを拭くときはやわらかい乾いた布を使用してください。アルコールまたはその他の液体薬品を使用しないでください。 |
|  | 温度の高いところ、多湿、埃が多い、或いは煙霧の発生する場所では使用しないでください。 |
|  | 太陽光が当たり温度が上がる場所ではエアコン・サーキュレーターによる換気で温度を使用条件内に維持してご使用ください。 |
|  | 本体の取り扱いにご注意ください。水平ではない場所や不安定な物体、振動する物体などの上に置かないようにしてください。落下や破損の原因となります。梱包材は次回運搬時のために保存してください。 |
|  | 本マニュアルで説明している使用手順に従ってもディスプレイを操作できない場合、稼働しない場合は速やかに電源を切り電源コードをはずしてください。販売店までご連絡ください。 |
|  | 本機器は通常、標高2000メートル以下の環境で作動します。2000メートル以上の標高で本機器を設置すると異常をきたす可能性があります。 |
|  | 本機器は家庭ごみとして廃棄しないでください。地域の廃棄物規制に従って正しく処分してください。 |
|  | 壁掛け設置ではコンクリートまたは表面が不燃性のものにのみマウントしてください。設置業者にご確認ください。 |
|  | 本機器は無線周波エネルギーが発生、および放射します。本機器が発生させる無線周波エネルギーは、FCC(連邦通信委員会)が定める、ばく露制限値を大幅に下回っています。 |

 **注意** 其他のご注意事項

*** 液晶焼き付けに対する推奨操作**

スクリーン上に静止または固定画像を長時間表示し続けると、画面に焼き付けが生じる場合があります。焼き付けを防ぐため、同一の静止または固定画像を長時間表示しないようご注意ください、コンテンツの切り替えを行ってください。(この画像の焼き付けは、メーカー保証の対象外です。)

*** 液晶パネルの清掃お手入れについて**

- やわらかい布でスクリーンパネルの埃をふき取ります。
- パネルを拭く際には固い素材のものを使用しないでください。
- 手や鋭利な物体（ペンや爪など）でパネルを突いたり、強い圧力を与えるとパネルが破損する場合があります。
- パネルが変色する恐れがあるため、洗浄液は使用しないでください。

*** ケースのクリーニング**

- 電源コードを抜きます。
- 柔らかい布でケースを拭きます。

お手入れ時の注意事項

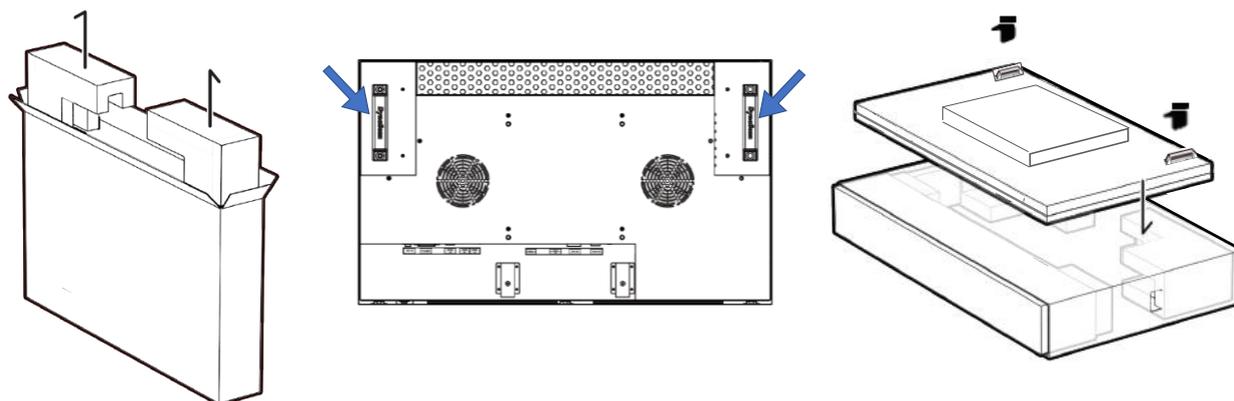
- ケースの塗料に異常が起こり、ひび割れや剥がれの原因となりますので次の溶剤は使用しないでください：ベンジン溶液、アルカリ溶液、アルコール系洗浄液、ガラスクリーナー、ワックス、ポリッシャー（つや出し剤）、洗剤

セットと付属品の確認

セットの取り出し

上箱を開けセット背面のアクセサリ類が入った箱を取り出します。セットを保護しているビニールを引き下げ、両サイド背面上部の取手をしっかり握って持ち上げます。

2名で作業を行うようにして下さい。セット取り出し後、あらかじめ準備したウレタンか厚手の保護布マットなど軟らかいものの上に画面を下側にして丁寧に置いてください。適当なものが無ければ取り出した製品のカートンにパッキングを戻し、その上に画面を下にして置き設置用金具の取付作業等を行うことも出来ます。

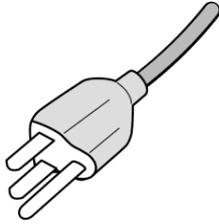
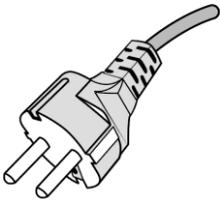
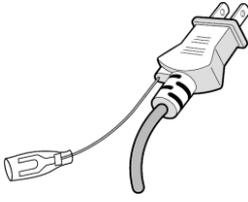
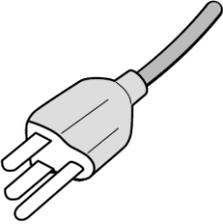


同梱物の確認

下記のアクセサリがディスプレイに付属していることを確認してください。万が一、いずれかが不足している場合は商品をご購入された代理店まで至急ご連絡ください。アクセサリの色や形状は製品によって異なる場合があります。

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| • DS シリーズ LCD ディスプレイ本体 x1 台 | • クイックスタートガイド x1 冊 |
| • リモートコントローラー x1 個 | • RS-232C ケーブル x1 本 |
| • 電池 (1.5V / 単 4)x 2 本 | • DVI ケーブル x1 本 |
| • 電源ケーブル x1 本 | • イーサネットクロスオーバーケーブル x1 本 |

 **注意:** 付属の電源コードがご使用の地域に適しているかを次の表で確認してください。電源コードがご使用の地域に適合しない場合、販売店までお問い合わせください。地域の安全規制に準拠する様適合する AC ソケットを使用してください。

| プラグの種類 | 北米 | 欧州全域 | 日本 | 台湾 |
|------------------------|---|---|--|---|
| プラグの形状 |  |  |  |  |
| 地域 | 米国/カナダ | 欧州 (英国を除く) | 日本 | 台湾 |
| 電圧 | 120V | 230V | 100V | 110V |
| NEMA タイプ | NEMA 5-15 | CEE 7/7 | NEMA 1-15 | NEMA 5-15 |
| IEC Display Plug | |  (Type IEC320 C13) | | |

リモコンの電池の挿入/交換

1. 電池収納カバーを開きます。
2. 新しい単4電池2本を挿入してください。
3. 電池収納カバーを閉じます。



警告:

- 電池の不適切な使用は液漏れまたは爆発の危険性があります。
- 挿入する際には、電池のプラス/マイナスの向きに注意してください。
- 異なるタイプの電池、あるいは新しい電池と古い電池を同時に使用しないでください。電池の寿命を縮め、液漏れを起こす危険性があります。
- 使用後の電池は収納ケース内で液漏れを起こさないよう取り外し、交換してください。
- 電池に液体が付着している場合、液漏れの可能性がありますので触らないでください。肌を傷つける恐れがあります。

注：リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外しておくことを推奨します。

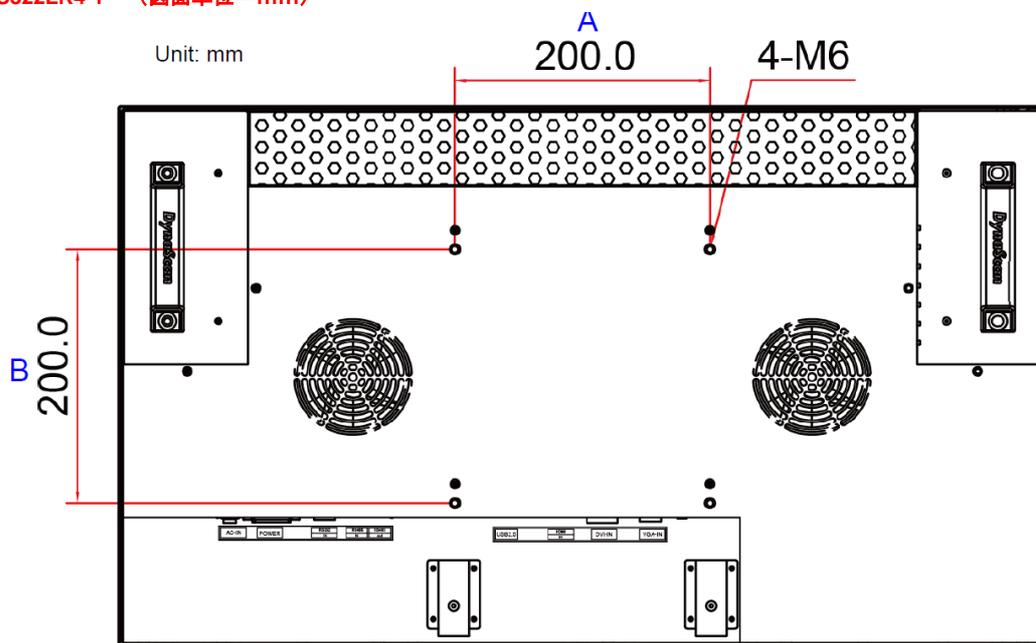
設置について

! 本機は屋内用で、設置には VESA 規格に準拠したスタンドや壁掛け用取付金具が必要です。スタンドや取付金具の説明書・指示に従い、正しく設置してください。不適切な設置は怪我や機器の破損につながります。不適切な設置による破損は製品保証の対象外であり、DynaScan はかかる事態に対する一切の責任を負いません。

- ディスプレイ本体を天井から吊るす設置、壁にマウントする場合はユーザーの責任で行って頂きます。天井または壁の強度によっては、ディスプレイを設置できない場合があります。不十分な強度の天井から吊るしたり、直立していない壁にマウントするとセットが落下して重大な怪我の要因となる場合があります。不適切な設置、改造、あるいは天災による破損は製品保証の対象に含まれていません。建築や機器設置の専門業者によりディスプレイの重量を支えられるか等、設置場所の査定が事前に行われる必要があります。設置作業は特殊な技術による工事や適切な壁掛け用取付金具、天吊り用金具が必要になりますので、販売店・専門業者へご相談頂くことをお勧めします。
- 取付を行われる際、設置は2名以上で作業頂くことを推奨します。
- 壁掛け用マウント金具は付属アクセサリに含まれていません。VESA 正規の壁掛け用マウント金具を購入して本体を固定してください。正規の壁掛け用取付金具以外を使用することによって発生した破損に対して DynaScan は一切責任を負いません。
- スタンドや壁掛け・天吊り用取付金具は販売店・専門業者にご相談頂き、セットのサイズ・重量・取付穴仕様に適した製品の利用をお勧めします。
- 適切に熱が放散されるよう、機器の通気口やヒートシンクは覆わないでください。
- スタンドメーカーの設置ガイドを参照して、適切にマウントしてください。
- 設置角度は垂直軸に対し 15 度以内にしてください。
- 壁掛け用取付金具を設置する場合は必ず機器の電源を切ってください。感電の危険性があります

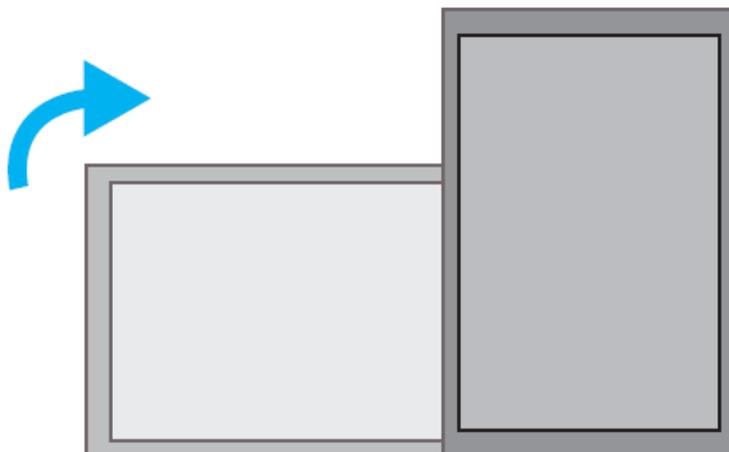
| モデル番号 | VESA (mm) | | ねじ仕様 | ねじ長さ | 数 |
|------------|-----------|-----------|------|--|---|
| DS322LR4-1 | (A * B) | 200 * 200 | M6 | 10mm 以上 12mm 以下 (壁掛け用マウント金具 自身の厚みを除く) | 4 |

DS322LR4-1 (図面単位=mm)



設置方向

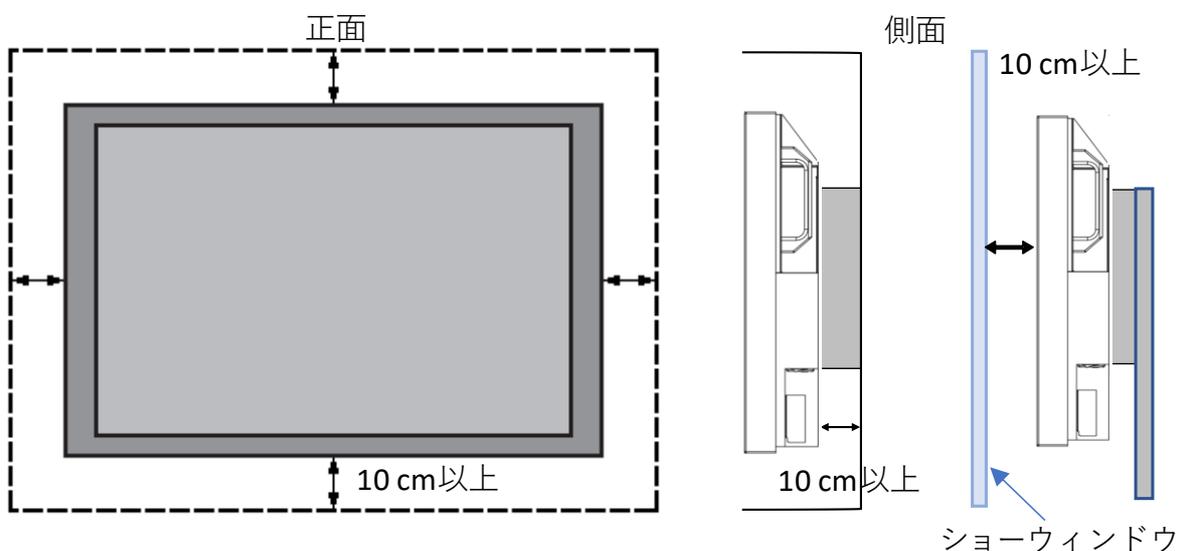
ポートレート向き（縦置き）で設置する場合は、本体はディスプレイに向かって時計回りに回転させ、左側の側面が上になるように設置してください。（セット背面の方向を示すシールもご確認ください。）



設置場所

- 壁とマウント金具は本体とそのアクセサリを設置するのに十分な強度である必要があります。
- 強い振動がある場所や埃の多い場所には設置しないでください。
- 建物の主要電気パネルの側には設置しないでください。
- 関係者以外不特定多数の人が簡単に取り外せない様、本体はしっかり固定してください。
- 適切な通気性を保つため、LCD(またはビデオウォールの寸法)の周囲から、できるだけ他の物体を離すようにしてください。
- スクリーンを壁に埋め込む形で設置する場合は、設置要件及び別冊のインストールレーションノートの冷却性および通気性を考慮したエンクロージャ（囲み方）の項目を参照ください

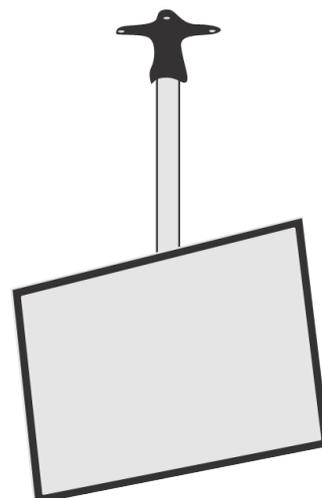
設置条件



ディスプレイ使用時の周辺温度は0~40度の範囲に保って頂く必要があります。エアコンやエアフローにつきましては、別冊の“インストールレーション ノート”をご参照ください。

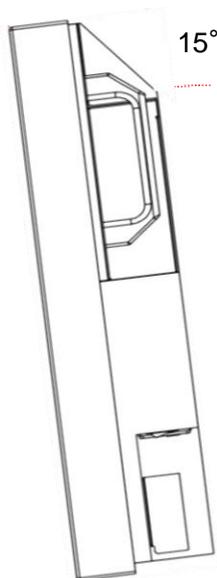
天井から吊るす場合

- 天井は LCD とそのアクセサリーを設置するのに十分な強度である必要があります。天井の強度を評価する際には地震、不測の振動、およびその他の外的衝撃を考慮してください。
- 軽量のスチールフレームやインテリアデコレーション等ではなく、梁など建物の構造部分に LCD を固定するようにしてください。
- 設置には木ねじや乾式壁用のアンカーを使用しないでください。



壁掛け

- 壁掛け用マウント金具は付属していません。VESA 正規の壁掛け用マウント金具を購入して LCD を固定してください。正規の壁掛け用マウント金具以外を使用することによって発生した破損に対して DynaScan は責任を負いません。
- 設置する場所が LCD の重量を支えられるかを設置前に建設業者など専門家に確認してください。
- 設置角度は垂直軸に対し 15 度以内にしてください。
- 壁掛け用マウントを設置する場合は、必ず機器の電源を切ってください。感電する危険性があります。



注：図はイメージです。

- 輸送時に LCD 画面を保護する為にアクリル保護シートが付いていますが、設置完了後取り外して下さい。（乱反射などの原因になります。）

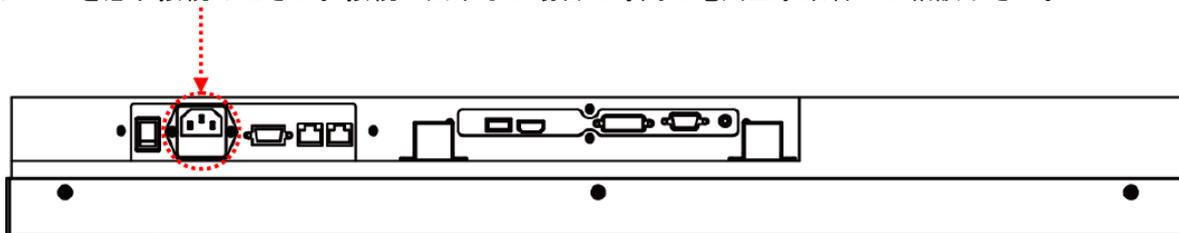
メンテナンス

- 留め具に緩みや変形がないか、定期的を確認してください。問題があった場合には、適切な是正措置をとってください。問題/トラブルを放置しておくと、さらに悪化する場合があります。
- 過去にメンテナンス修理をした場所は検査回数を増やし、問題/トラブルが再発していないか確認してください。

電源への接続

付属の電源ケーブルを、下図の通りにディスプレイの背面に接続します。電源ケーブルをコンセント（100V、50 / 60Hz AC 電源）に接続します。

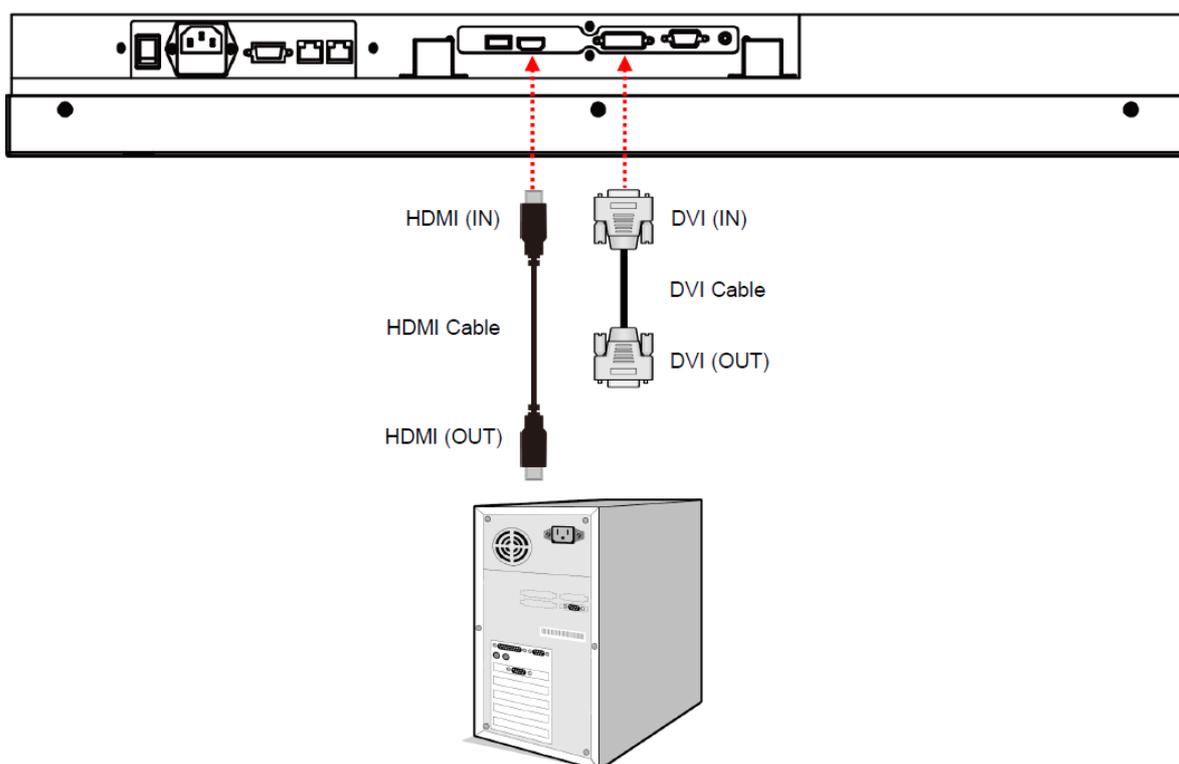
! プラグはしっかりとソケットに挿入してください。電源の接続が緩い場合、ディスプレイが破損したり火災の危険性があります。
アースを必ず接続ください。接続が出来ない場合は専門の電気工事業者へご相談下さい。



外部ビデオソースに接続する

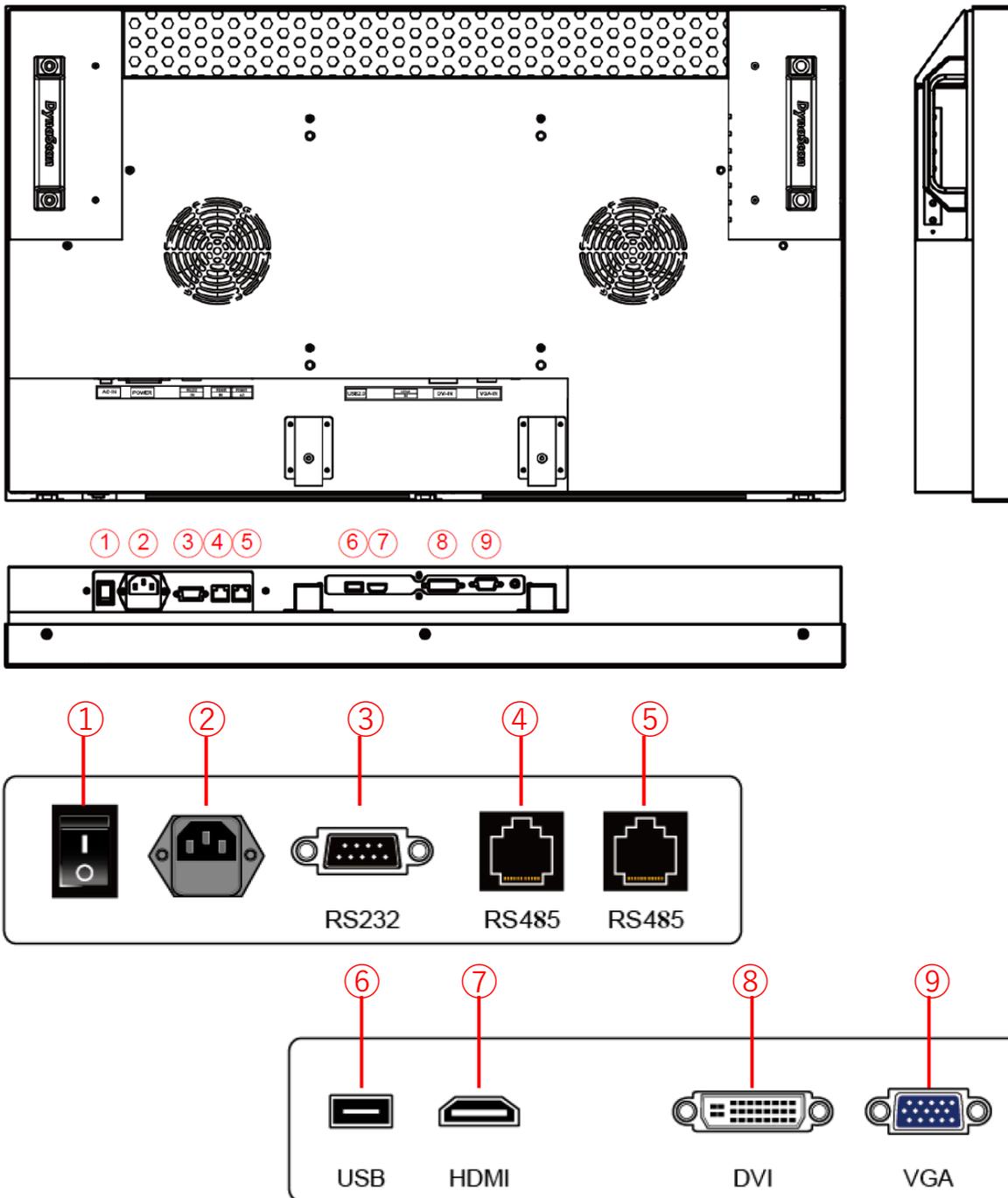
LCD および外部ビデオ機器、両方の電源をオフにします。DVI ケーブル（または HDMI ケーブル）の一方の端をディスプレイ背面の DVI 入力（または HDMI 入力）に挿入します（下図を参照）。

DVI ケーブル（または HDMI ケーブル）のもう一方の端をビデオソースの DVI 出力（または HDMI 出力）に接続します。詳細につきましては、ご使用になられているビデオ機器のマニュアルを参照してください。



コネクタの配列

DS322LR4-1



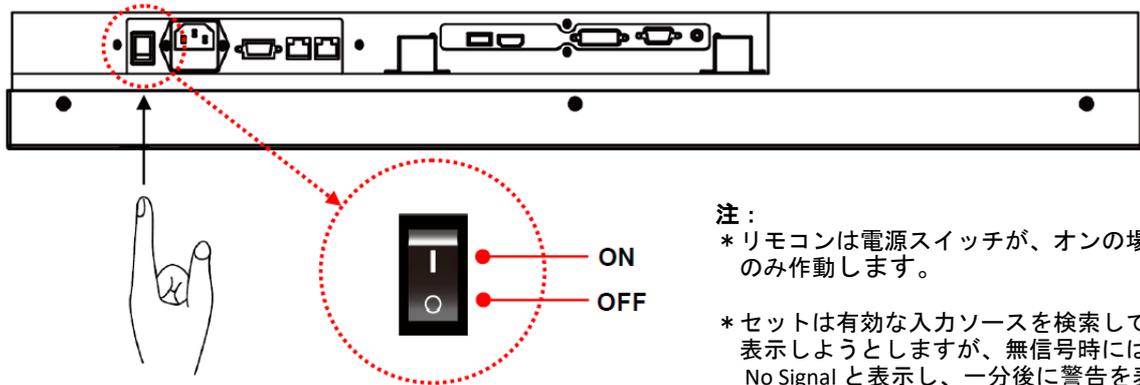
入力 / 出力端子

1. 電源スイッチ：主電源のオン/オフを切り換えます
2. AC（入力）：付属の電源コードとコンセントを接続
3. RS-232（入力）：PCからの遠隔コントロール用RS-232ネットワーク入力接続
4. RS-485（入力）：PCからの遠隔コントロール用RJ45ネットワーク入力接続
5. RS-485（出力）：デジチェーン接続などのRJ45コントロール機能用
6. USB：対応したフォーマットでUSBメモリーに記録された写真や動画の再生用
7. HDMI（入力）：PCやAV機器のHDMI出力をHDMIケーブルで接続
8. DVI（入力）：PCのDVI-D出力またはAV機器のHDMI出力をDVI-HDMIケーブルで接続
9. VGA（入力）：主にPCのVGA出力をVGAケーブルで接続

操作説明

ディスプレイのメイン電源を入れる/切る

ディスプレイ電源のオン/オフは、ディスプレイ背面の電源スイッチを押します（下図を参照）。



注：

* リモコンは電源スイッチが、オンの場合のみ作動します。

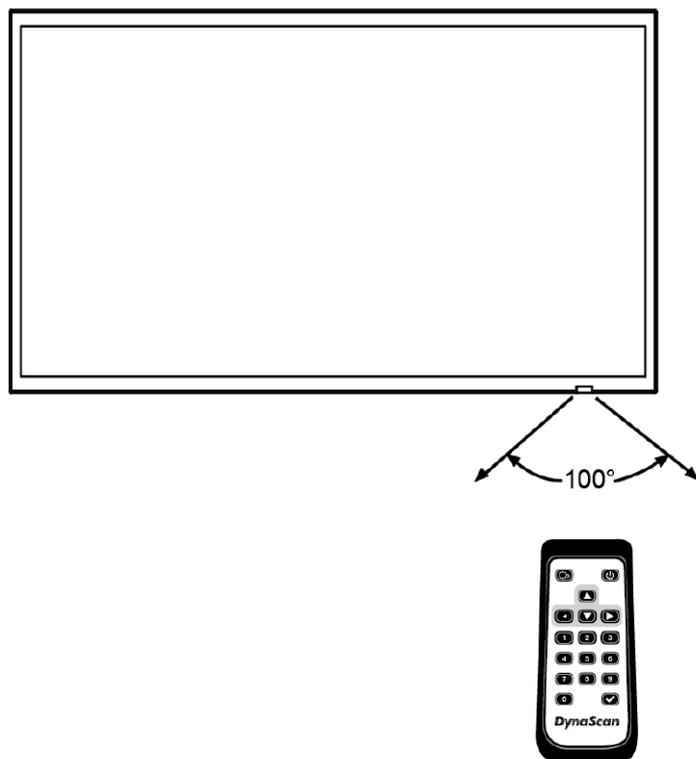
* セットは有効な入力ソースを検索して表示しようとはしますが、無信号時には No Signal と表示し、一分後に警告を表示して 15 秒後に電源をオフにします。

リモコンの使用方法

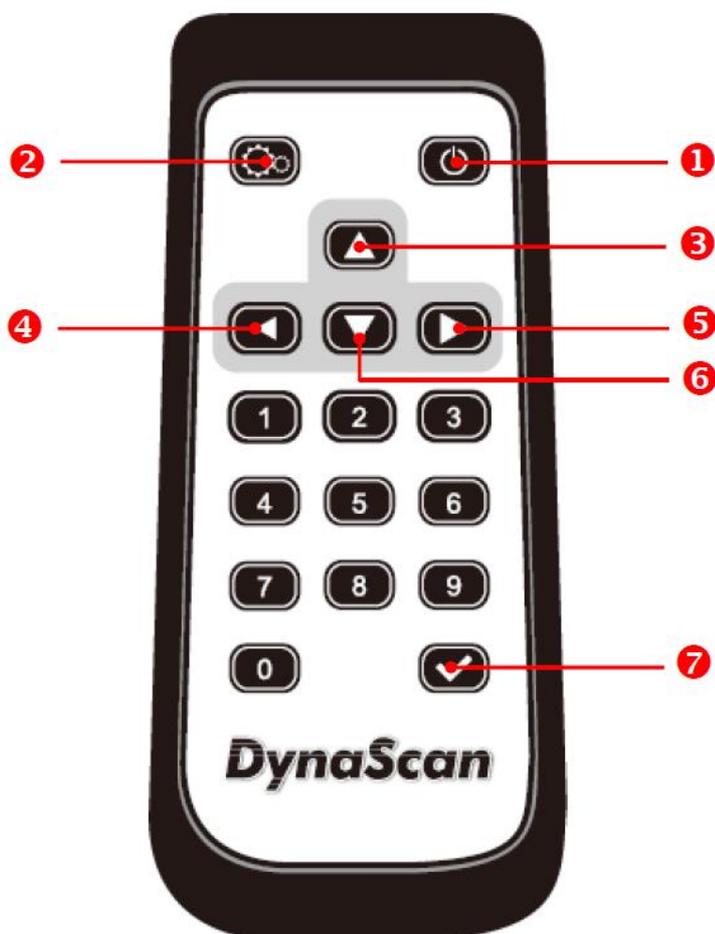
リモコンを使用する際は、ディスプレイ上の IR 受信機に向けて使用してください。本モデル DS322LR4-1 の IR 受信機はディスプレイの前面にあり、受信角度は 100 度です。リモコンの操作範囲は 2.5 メートル（8 フィート）です。

本モデルの IR リモコン操作ボタンの構成は下図を参照してください。

環境光がリモコンの性能に影響する場合があります。蛍光灯やネオンライトの側での使用は避けてください。

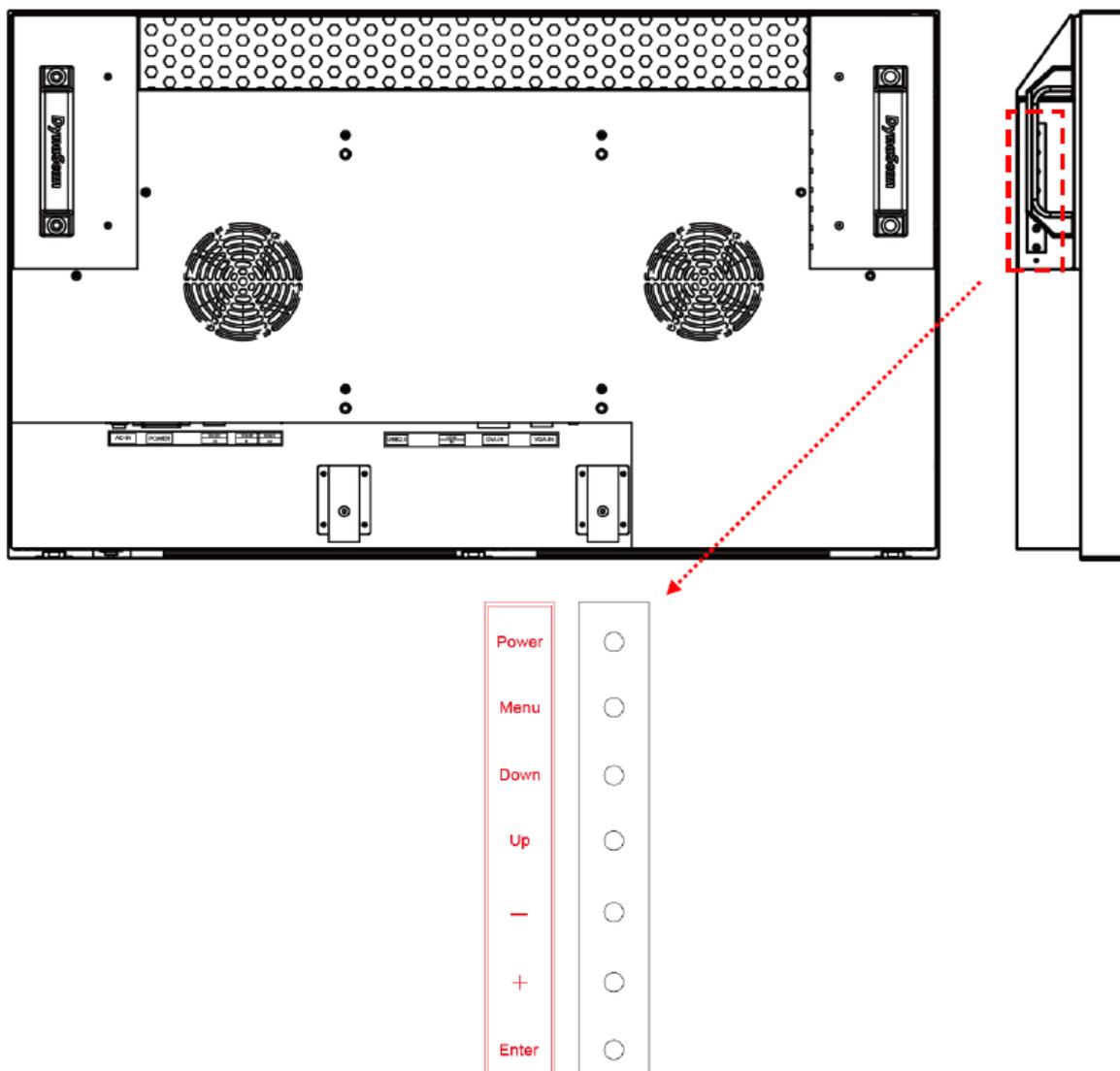


リモコンの使用方法（続）



| アイテム | | 説明 |
|------|---------------|---------------------------------|
| ① | POWER（電源） | 電源オン/オフ |
| ② | MENU / EXIT | OSD オン/オフ、及び選択したアイテムを終了し移動します。 |
| ③ | UP（上） | カーソルを上に移したり、選択したアイテムの設定を変更します。 |
| ④ | LEFT（左） | カーソルを左に移したり、選択したアイテムの設定を変更します。 |
| ⑤ | RIGHT（右） | カーソルを右に移したり、選択したアイテムの設定を変更します。 |
| ⑥ | DOWN（下） | カーソルを下に移したり、選択したアイテムの設定を変更します。 |
| ⑦ | ENTER / INPUT | ハイライトしたアイテムを選択したり、入力ソースの切替をします。 |

リアパネルコントロールスイッチの使用方法



| アイテム | 説明 |
|-------------|---------------------------------|
| POWER (電源) | 電源をオン/ オフします。 |
| MENU (メニュー) | OSD のオン/オフ、及び選択したアイテムから移動します。 |
| DOWN (下) | カーソルを下に移動したり、選択したアイテムの設定を変更します。 |
| UP (上) | カーソルを上に移動したり、選択したアイテムの設定を変更します。 |
| — | カーソルを左に移動したり、選択したアイテムの設定を変更します。 |
| + | カーソルを右に移動したり、選択したアイテムの設定を変更します。 |
| ENTER | ハイライトしたアイテムを選択します。入力ソースを切り替えます。 |

オンスクリーンディスプレイ (OSD)メニュー操作方法

リモコンの MENU (メニュー) ボタンまたはリアパネルコントロールスイッチを押して OSD を表示します。矢印キーを使用してメニュー項目を選択し、調整します。

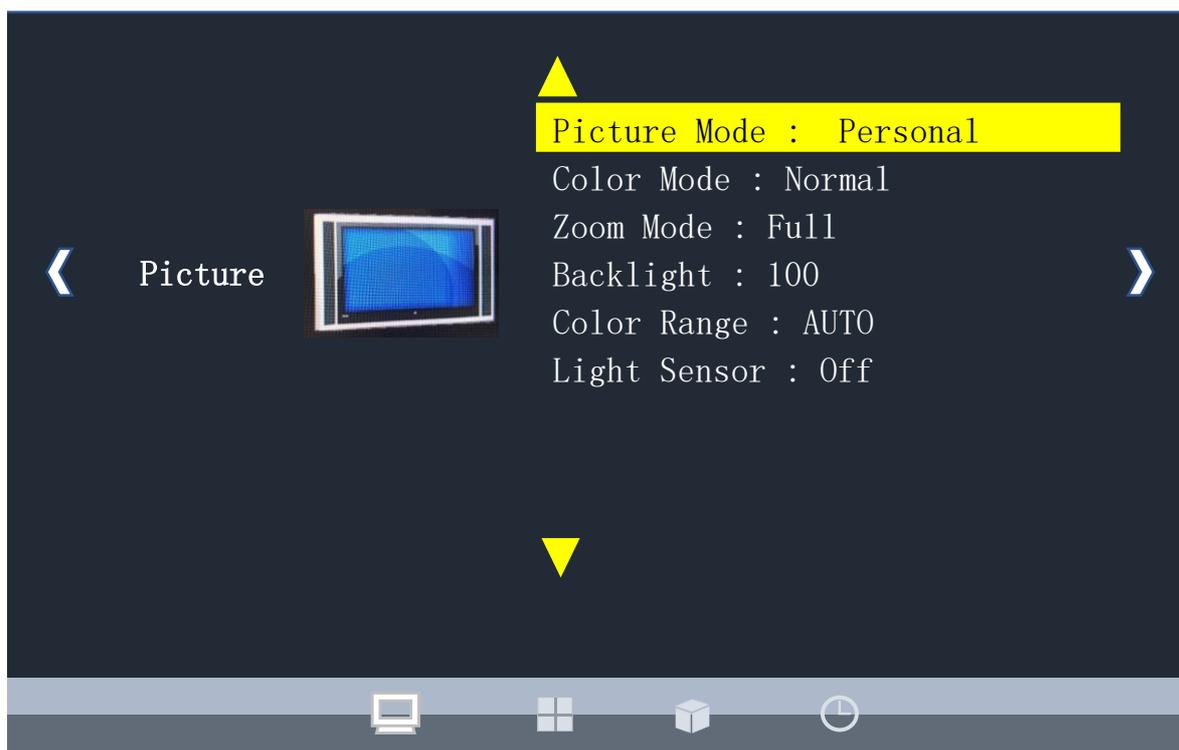
本 OSD の MENU は全体が次の 4 つの大項目で構成されています。

| | |
|--|-------------------|
|  Picture | 画質全般の調整項目 |
|  Set Up | 操作機能の設定とセット个体情報 |
|  USB Media Player | USBメディアプレイヤーの設定項目 |
|  Clock | 内蔵時計・タイマーの設定項目 |

MENU ボタンを押すと最初に Picture の設定画面が表示され、選択されている部分は黄色くハイライトされています。

尚、本 OSD は縦向きでの使用の場合でも表示方向が変わりませんので、ご了承ください。

1. Picture の各項目設定



Picture Mode : コントラスト・ブライトネス調整

画質をお好みの設定に切り替えます。リモコンの  キーを押してモードに入り上下左右キーで選択してください。Personal を選択すると個々のパラメーターをカスタムに設定が可能です。

Standard = 標準的な画質設定

Dynamic = メリハリのある明るく濃淡のはっきりした画質設定

Soft = 落ち着いてソフトな雰囲気画質設定

Personal = Contrast (メリハリ感) と Brightness (明るさ感) をお好みで調整が可能です。

注 : Standard, Dynamic, Soft の画質設定はプリセットされており、変更が出来ません。

Tint, Color, Sharpness は表示数値が変わってもあらかじめ設定されている画質から変化しません。

Color Mode : 色合い調整

RGB レベルの設定により画面の色合いを決定します。上下キーで Color Mode に合わせ \square キーを押し同モードに入り、左右キーで選択します。Normal—Warm—Cool—Personal の 4 モードから選択が可能です。Personal を選択した場合は R, G, B 各レベルをお好みで設定が可能です。

| | Personal | Normal | Warm | Cool |
|------|----------|--------|------|------|
| 色合い | (可変) | 標準的 | 暖色系 | すっきり |
| R(赤) | 0~255 | 110 | 128 | 128 |
| G(緑) | 0~255 | 118 | 114 | 124 |
| B(青) | 0~255 | 101 | 93 | 127 |

- 個々の設定値は個体によって異なる場合があります。

Advanced : 使用しません。

Zoom Mode : 画角設定

通常は Full (乃至 Wide か Point to Point) に設定して変更しないようにしてください。古い 4:3 アスペクト比の映像コンテンツを再生する場合にのみ Normal, Zoom, Cinema モードをご利用ください。

Backlight : バックライトの輝度調整

液晶のバックライトの明るさを 0~100 の範囲で調整が可能です。工場出荷時は 100(最大値=2500nit) になっています。

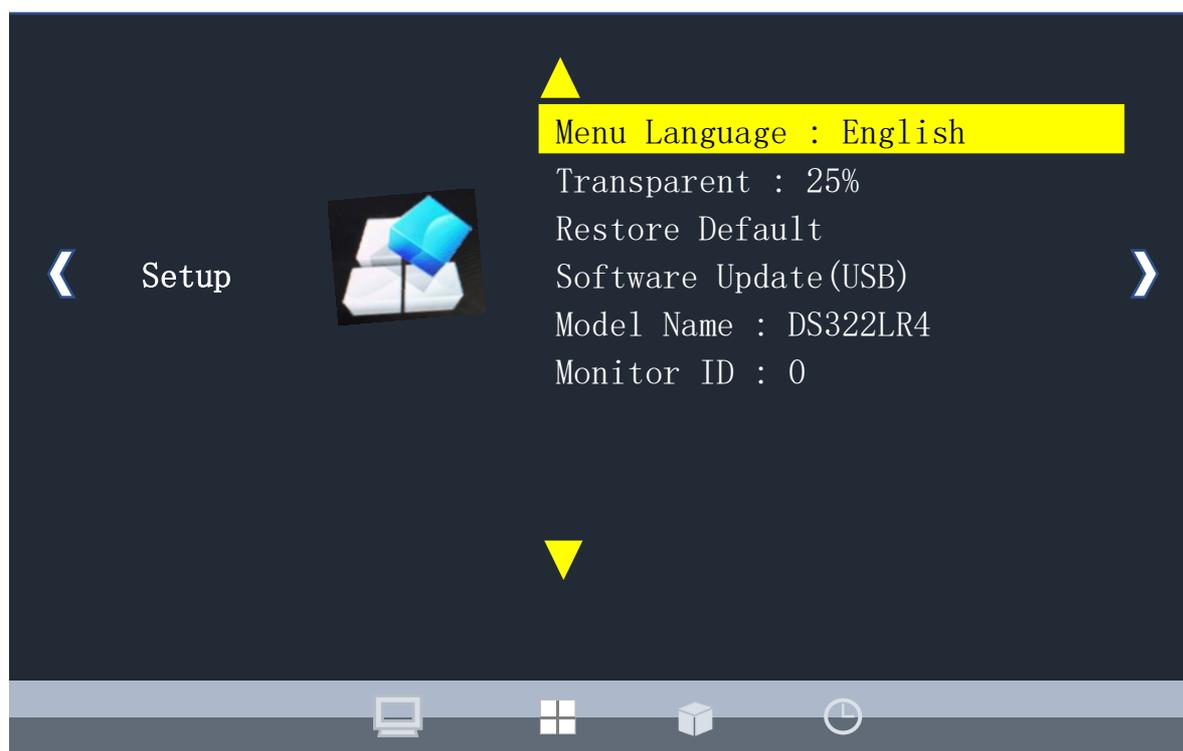
Color Range : 使用しません。 (Auto / 16~235 / 0~255 と表示が変わりますが使用しません。)

Light Sensor : 外部照度センサー

照度センサーを使用せず常に一定の明るさで表示される場合は OFF にしてください。

ディスプレイのリモコン受信部は外部照度センサーを兼ねています。この項目を ON にしますと外部照度が低くなる日没後等、高輝度と低輝度の切替を自動で行います。低輝度モードは約 300cd/m² の輝度に明るさを落としますので、日中は明るく、夜間は明る過ぎることなく適正輝度で表示します。

2. Setup の各項目設定



Menu Language : OSD 言語の設定

本製品は日本語の OSD 設定が無く、英語、フランス語、スペイン語のいずれかを選択頂くこととなります。工場設定の English (英語)でお使いください。

Transparent : OSD 表示の透過度を設定

OSD の設定画面を表示している際にも背景の画面をご覧になりたい場合は透過率をあげてお使い下さい。設定は 0%(透過無し) / 25% / 50% / 75% / 100%で切替が可能です。

Restore Default 工場出荷時の設定に戻す作業

本項目を ぼたんで選択しますと、Are You Sure ? (もどして本当に大丈夫ですか?) と OSD 上の子画面で確認のメッセージが表示されます。すべての設定を一旦工場出荷時の状態に戻したい場合には右ボタンで YES を選択しリセットしてください。リセットしたくない場合は左ボタンで No を選択して Menu に戻ってください。

Software Update (USB) USB Media Play 機能のバージョンアップ

本項目を ぼたんで選択しますと、Are You Sure to Update ? (ソフトウェアを本当にアップデートしますか?) と OSD 上の子画面で確認のメッセージが表示されます。アップデートされる場合は右ボタンで YES を選択してください。アップデートしたくない場合は左ボタンで No を選択して Menu に戻ってください。

Model Name : DS322LR4

お手持ちの機種名が表示されています。操作は不要です。

Monitor ID : 0 モニターの ID

PC により複数台のモニターを遠隔操作する場合、各モニターに ID を設定する必要があり、本 Menu で設定します。(数字番号)

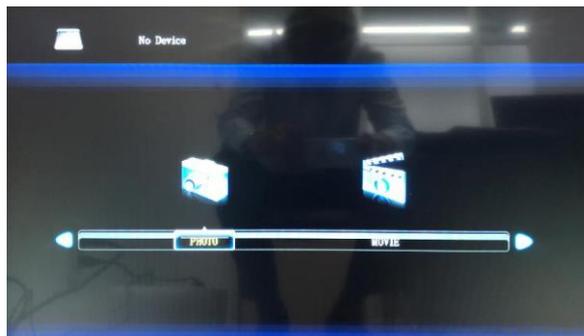
3. Media Player (App) : USB メモリーによるコンテンツの再生機能



本製品は PC や Media Player を HDMI 或いは DVI ケーブルで接続してお使い頂くことを前提に設計されています。但し、必要に応じて USB メモリーに記録した動画や静止画のコンテンツを再生する簡易型メディアプレイヤー機能が搭載されていますので、万が一、お使いの Media Player が故障したり、配信ネットワークが断線した場合には USB メモリーに記録したコンテンツを再生することで画面のブラックアウトを避けることが可能です。(対応フォーマット : Video: .mpg\ .avi\ .mov Photo: jpg)

USBメモリが装着されていない場合、右の画面が表示されますので、USBメモリを装着し、PHOTO=静止画コンテンツか MOVIE=動画コンテンツを選択し、表示されたUSBに記録されたコンテンツ一覧から選んで再生をスタートさせます。

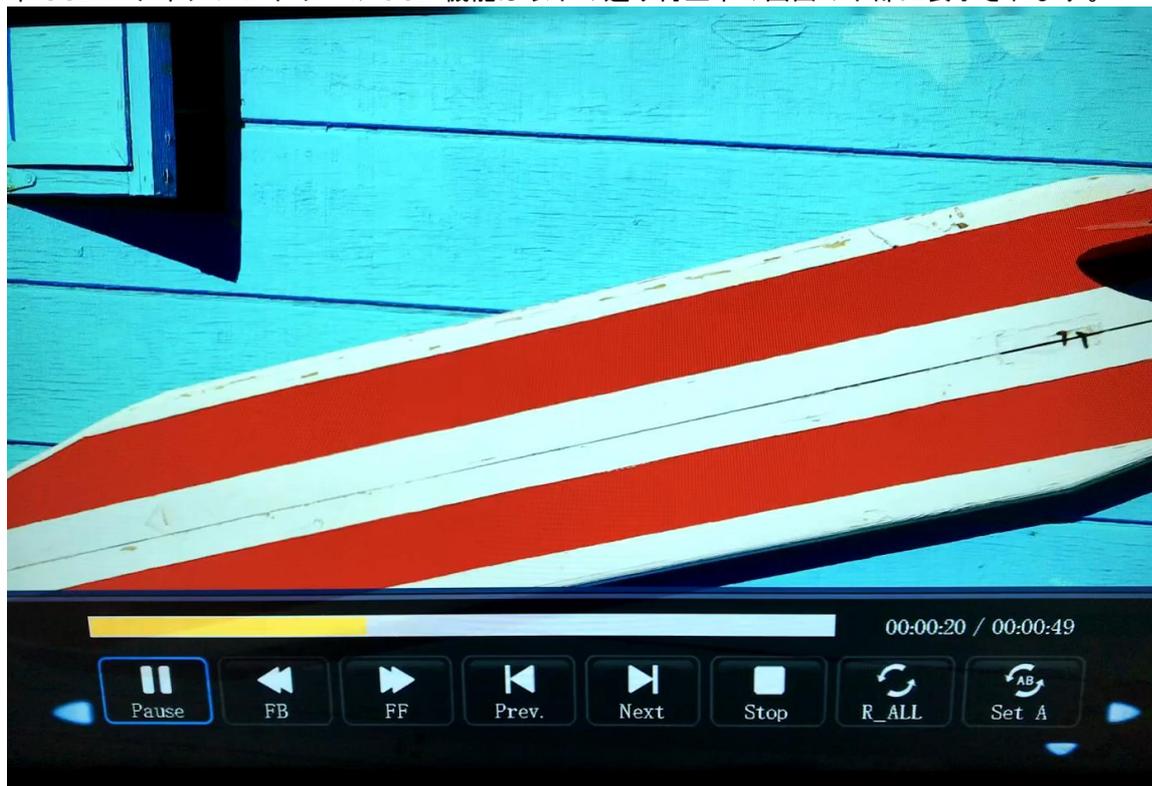
(下はコンテンツ一覧画面)



(本モードのイニシャル画面)

コンテンツ一覧画面ではそれぞれのコンテンツを選択しますと、別ウィンドウが表示され内容が再生されます。選択したコンテンツが本 Media Player 機能でサポートしていない形式のファイルである場合はその旨が表示されます。

本 USB メディアプレイヤーの OSD 機能は以下の通り再生中の画面の下部に表示されます。



コンテンツを選択した USB メモリーですと USB Media Player モードを選択した段階でサーチが始まり自動的にコンテンツを再生します。設定を変えたい場合にはリモコンの左右キーで一旦 STOP ボタンを選択して  ボタンを押すことで、上図のコンテンツ一覧画面に戻り、

更に  Return ボタンを選択し  ボタンを押すことでイニシャル画面に戻ります。

各項目の設定はリモコンの左右キーに合わせて下さい。OSD 表示を消したい場合はダウン(下)キーを押します。

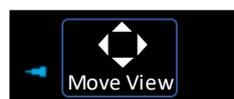
MOVIE (動画コンテンツ)



Pause = 動画を静止する
 FB=早送り
 FF=早戻し
 Prev.=前のコンテンツへ戻し
 Next=次のコンテンツへ進む
 Stop=再生中止 コンテンツ一覧へ戻る
 Repeat__ALL=繰り返しのパターンを選択
 (All=全て、One=一コンテンツのみ、None=繰り返しなし)
 Set A=再生区間を設定する。
 (None=設定しない、Set-A=起点設定、Set-B=終点設定)



PlayList=選択したコンテンツのリストを表示
 Info.=再生中のコンテンツの情報を表示
 Slow For.=スロー再生 (スピード選択可)
 Step For.=コマ送り再生 (同上)
 GoTo Time=使用しません。
 Zoom In=使用しません。
 Zoom Out=使用しません。
 Aspect Ra.=使用しません。



Move View=使用しません。

PHOTO (静止画コンテンツ)



Pause = 再生中の静止画に固定する
 Prev.=前の静止画に戻る
 Next=次の静止画に進む
 Stop=再生中止 コンテンツ一覧へ戻る
 R_All=繰り返しのパターンを選択
 (All=全て、One=一コンテンツのみ、None=繰り返しなし)
 Music=使用しません。
 Play List=選択したコンテンツのリストを表示
 Info.=再生中コンテンツの情報を表示



Zoom In=画面を拡大 (大きさ選択可) Move View=使用しません。
 Zoom Out=画面を縮小 (大きさ選択可) Slide Show=コンテンツ切替時のパターンを選択可能 (7種類)

4.Time : 時間設定画面



Power Control Timer :
 タイマーの On/Off を設定します。

Current Time: 現在時刻を設定します。

Power On Time :
 電源オンの時間を設定します。

Power Off Time :
 電源オフの時間を設定します。

仕様

| モデル | DS322LR4-1 | |
|--------------|------------------------------|--|
| パネル | LCD パネルサイズ | 31.55 インチ |
| | ネイティブ解像度 | 1920 x 1080 |
| | 輝度 | 2500 cd/m ² (標準) |
| | コントラスト比 | 3,000:1(Static), 10,000,000:1(Dynamic) |
| | 応答速度 | 12mm 秒 (標準) |
| | 表示視野角度 | 178°/ 178° |
| | ライブタイム | 100,000 時間 (動作温度が一定の場合) |
| | パネル表面 | AG ヘイズ 1%、3H |
| 電力 | 電源 | 内部 |
| | 定格電圧 | 100 ~ 240V、50 / 60Hz |
| | 電源オンモード | 標準 120W / 最大 185W |
| | スタンバイモード | 5W 以下 |
| | AC 出力 | なし |
| 機械的仕様 | ベゼル幅 (上部/下部/左/右) | 18.0 / 18.0 / 13.1 / 13.1mm |
| | キャビネットの色 | ブラック |
| | モニター寸法 (幅 x 高 x 奥行、スタンドは含まず) | 727.5 x 432.0 x 87.0 mm |
| | 重量 (本体 / 梱包状態) | 13.5 kg / 16.5 kg |
| | VESA マウント (寸法) | 4 穴 (200 x 200 mm) |
| ユーザーインターフェース | OSD 言語 | 英語 (フランス語、スペイン語) |
| 環境 | 作動時の温度 | 0°C ~ 40°C |
| | 保管温度 | -20°C ~ 60°C |
| | 湿度 | 10% ~ 80% RH 結露なし |
| I/O ポート | DVI-D | 入力 x 1 (HDMI 対応) |
| | VGA | 入力 x 1 |
| | HDMI | 入力 x 1 |
| | RS-232 | 入力 x 1 |
| | RS-485 | 入力 x 1, 出力 x 1 |
| | USB | 入力 x 1 |
| ヒューズ | | 2.5 A |

 設計と仕様は、予告なく変更することがあります。

 RS-232C コントロールの詳細情報につきましては販売店までお問合せください。

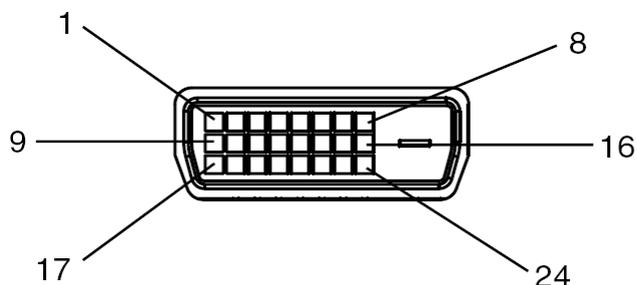
入力モード

| アクティブ解像度 | | リフレッシュレート | ドット周波数 | 縦横比 |
|----------|------|-----------|------------|------|
| 水平ピクセル | 垂直 | | | |
| 640 | 480 | 60 Hz | 25.175 MHz | 4:3 |
| 720 | 480 | 50 Hz | 27 MHz | 4:3 |
| | | 59.94 Hz | 27 MHz | 4:3 |
| 800 | 600 | 60 Hz | 40 MHz | 4:3 |
| 1024 | 768 | 60 Hz | 65 MHz | 4:3 |
| 1280 | 720 | 50 Hz | 74.25 MHz | 16:9 |
| | | 60 Hz | | |
| 1280 | 768 | 60 Hz | 79.5 MHz | 5:3 |
| 1360 | 768 | 60 Hz | 85.5 MHz | 16:9 |
| 1920 | 1080 | 50 Hz | 148.5 MHz | 16:9 |
| | | 60 Hz | | |

* 接続するコンピューターによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。

ピン配列

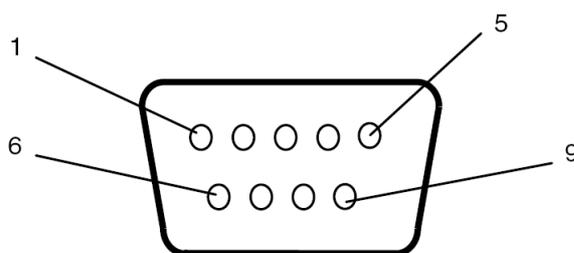
デジタル RGB 入力 DVI 端子



デジタル RGB 入力 (DVI-D) : DVI

| DVI コネクタのピン配列 | | | | | |
|---------------|-----------------|----|-----------------|----|-----------------|
| 01 | RX2- | 09 | RX1- | 17 | RX0- |
| 02 | RX2+ | 10 | RX1+ | 18 | RX0+ |
| 03 | シールド(RX2 / RX4) | 11 | シールド(RX1 / RX3) | 19 | シールド(RX0 / RX5) |
| 04 | 非接続 | 12 | 非接続 | 20 | 非接続 |
| 05 | 非接続 | 13 | 非接続 | 21 | 非接続 |
| 06 | DDC-シリアルクロック | 14 | +5V 電源 | 22 | シールド (RXC) |
| 07 | DDC-シリアルデータ | 15 | グラウンド | 23 | RXC+ |
| 08 | 非接続 | 16 | ホットプラグ検出 | 24 | RXC- |

RS-232C 入力



RS-232 入力

| ピン番号 | 名称 |
|------|-----------|
| 01 | 7 と 8 に接続 |
| 02 | TXD |
| 03 | RXD |
| 04 | 6 に接続 |
| 05 | グラウンド |
| 06 | 4 に接続 |
| 07 | 1 と 8 に接続 |
| 08 | 1 と 7 に接続 |
| 09 | 非接続 |

トラブルシューティング

| 問題点 | 推奨される解決策 |
|---------------------------------|---|
| 画像が表示されな い。 | <ul style="list-style-type: none"> ●DVI 入力ケーブル(或いは HDMI 入力ケーブル)がしっかりと挿入されているか確認してください。 ●メインスイッチがオンの位置になっているか確認してください。また電源コードがしっかりと挿入されているか確認してください。 ●画像ソースの解像度が 1920×1080 (1080p)に設定されているか確認してください。 ●DVI ケーブルが破損または過度に曲げられていないか確認してください。 ●上記を含む表示したいコンテンツを出力する機器との接続がきちんとされており、セットがそのソースを選択しているかご確認ください。 |
| メインスイッチをオンにしても作動しない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードをコンセントから抜き、再度差し込んで数秒待ってからサイネージをリセットしてください。 <p>注：電源コードを抜いても設定は変更されません。</p> |
| 画像が安定しない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●DVI 入力ケーブル (又は HDMI ケーブル) がしっかりと挿入されているか確認してください。 |
| リモコンが機能しない | <ul style="list-style-type: none"> ●リモコンに電池が入っているか確認してください。 ●電池が新しいか、プラス/マイナスの向きは正しいか、なども確認してください。 ●リモコンを操作範囲内で操作しているか確認してください。 ●明るい光がリモコンに干渉している場合があります。リモコンは特定の 蛍光灯やネオンライトの近くでの使用は避けてください。 |
| 自動オン/オフが機能しない、あるいは正しく機能しない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●メニュー内の TIMER(タイマー) 設定が OFF (オフ) になっていないか確認してください。 ●「Power On Time (電源オン時間)」と「Power Off Time (電源オフ時間)」が正しく設定されているか確認してください。 |
| RS-232 を介してディスプレイを遠隔コントロールできない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●RS-232 ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 |

本機種の問題が解決されない場合は、取扱店、又は DynaScan まで、お問い合わせください。

【メモ】

型名：DS322LR4-1

S/N シリアルナンバー：

購入先：

購入日：

www.dynascandisplay.co.jp
www.dynascanusa.com

ダイナスキャン・テクノロジー・ジャパン株式会社
〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 888 番地

Copyright © DynaScan Technology, Inc. All Rights Reserved.